１５課「テレビ・雑誌から」

＜行動目標＞
ニュースや身近な情報を友達や周りの人に簡単に伝えることができる。また、その情報をもとに一緒に行動することができる。

＜3 つのスモールトピック＞
ＳＴ１「これ、知ってる？」
テレビや雑誌などの情報を友達に伝えて、誘ったり、その情報の感想を話したりすることができる。
ＳＴ２「雑誌を見て町へ」
雑誌などの情報をもとに、いろいろな条件を考えながら友達と行動することができる。
ＳＴ３「町を歩いて」
出かけた先で、自分の周りの様子を簡単に話すことができる。

話してみよう

『できる日本語　初級』の最後の課、15 課のテーマは「テレビ・雑誌から」です。自分が得た情報を周りの人と交換しながら、日本語を使った生活を充実させていってほしいと思います。

【話してみよう】では、イラストや写真を見ながら、これから始まる課のテーマに学習者を導いていく役割を持っています。これまでご紹介したように、学習者の話を聞きながら、各テーマのタイトルからも【聞いてみよう】につなげていくこともできます。15 課のテーマは「テレビ・雑誌から」なので、最近どんなニュースがあるかを学習者に問うてみるのもいいと思います。『できる日本語教え方ガイド&イラストデータ CD-ROM』の p.91 にそれぞれの写真やイラストを用いた場合の質問例があるので、参考にしてみてください。

15 課の【話してみよう】のイラストをきっかけにして、学習者の話を聞いてみてください。やり取りの中から学習者自身がどのように感じているのか、いろいろな話が出てくると思います。【話してみよう】のねらいは、テーマに学習者を引き付けることと、それまでに学んだ日本語を用いて話すことにあります。教師は学習者が話せるように促したり、他の学習者に質問をしてもらったりしてください。

聞いてみよう

【話してみよう】が終わったら、【聞いてみよう】に移ります。【話してみよう】でテーマについて、ある程度、学習者の興味が引き寄せられていたら、ＣＤを聞くときには、学習者

は聞くことに集中できると思います。既習語彙が増えていることや効果音が使われていることから、どんな状況かがつかめると思います。

ＳＴ１　これ、知ってる？

できること : テレビや雑誌などの情報を友達に伝えて、誘ったり、その情報の感想を話したりすることができる。

チャレンジ！

状況イラスト :
パクさんとアンナさんは寮のロビーで話をしています。パクさんは雑誌の中におもしろそうなイベントを見つけました。

1-1

コマイラスト : パクさんは雑誌を見ています。雑誌の中にみどり公園でフリーマーケットがあることが紹介されています。パクさんはアンナさんと行きたいと思って、誘っています。

【チャレンジ】では、状況イラストから入っていって、この会話がどのような状況で行われているのかを学習者と一緒にやり取りを通して確認してから、コマイラストに入っていきます。【チャレンジ】ではこれまでに習った学習項目や語彙を使って、日本語で何と言ったらいいかチャレンジします。ここでは、L6ST1 の学習項目「（場所）で（イベント）があります」などを使って、「みどり公園でフリーマーケットがあります」「へえ」「服や本が安いです」「そうですか。いいですね」「一緒に行きませんか」「いいですね。行きましょう」のようにチャレンジしてもらいたいです。雑誌で見つけたイベントを友達に伝えて誘う会話です。伝聞の「～そうです」がここでの学習項目なので、「みどり公園でフリーマーケットがあるそうです」とはもちろん言えなくて大丈夫です。「みどり公園でフリーマーケットがあります」と言えたら「いいですね」などとほめてください。そこまでは正しく言えているということに自信を持ってもらってから、教師はパクさんが見ている雑誌を指さすなどして「何を見ていますか」とか「雑誌にどんなイベントがありますか」な

どと言いながら、何かを見てそれを友達に伝えているということが学習者と共有できるようなやり取りをしてください。そうすることで、学習者は自分たちがチャレンジしたこととこれから聞く CD で聞こえてくるものの違いに注意がいくようになります。

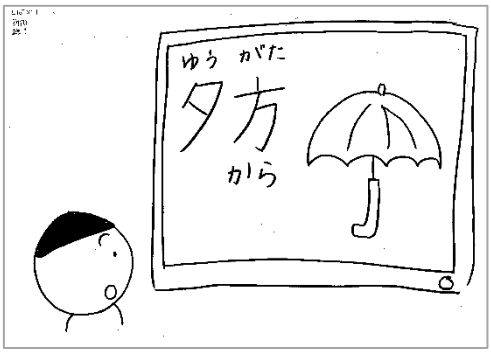
学習項目 ~そうです（伝聞）

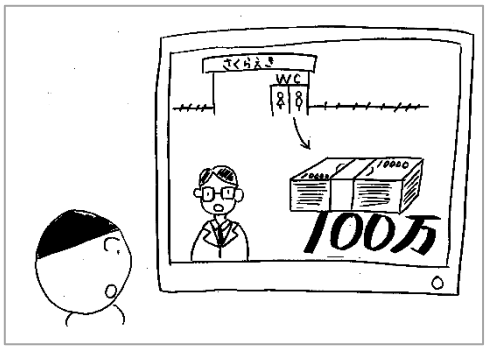
言ってみよう　別冊1

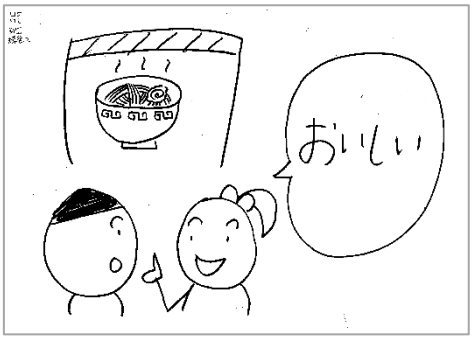
ここではイラストがないので、別冊の文字を追って機械的な練習だけにならないように気を付けてください。イラストで提示して練習してもらうのもいいと思います。別冊の文の内容を変えて、そのときの話題になっていることを取り入れてもいいと思います。新出語彙語もあるので、お忘れのように。クラスによっては、最初に動詞や形容詞の部分と「そうです」の接続の練習を行い、それから文での練習、というようにステップを踏んでいくのもいいでしょう。

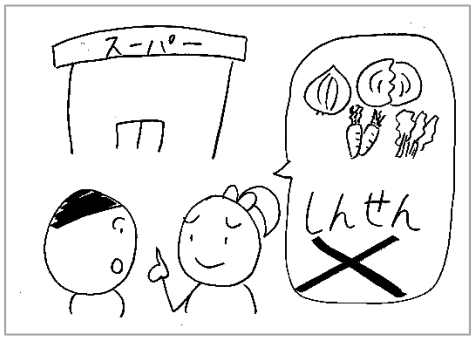
こんなふうに

練習 1 と練習 2 を下のようなイラストを用意して、練習しています。このイラストは一つのクラスだけではなく、学校全体で共有して使っています。









言ってみよう　本冊1-1

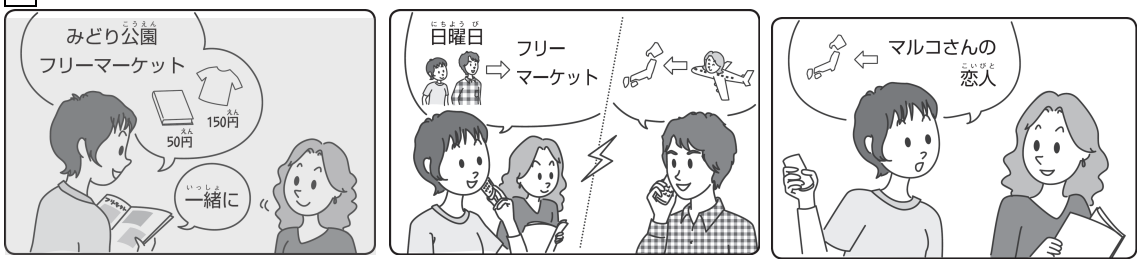
ウェブサイトやポスター、雑誌などを見て得た情報を相手に伝えて、誘う会話です。

があります。「行きませんか」以外にも、「参加しませんか」「見に行きませんか」など

いろいろな動詞が使えることを学習者に促してください。

チャレンジ！

1-2



コマイラスト：パクさんは、クラスメイトのマルコさんもフリーマーケットに誘おうと思って、電話をします。マルコさんはそのとき、国から恋人が来るので、一緒に行けないと言っています。

【チャレンジ！】1-2 は、マルコさんに電話をしたパクさんが、アンナさんにマルコさんの話をどう伝えるかがポイントです。

学習項目 ~そうです（伝聞）

言ってみよう　本冊1-2

身近な周りのニュースを他の人に伝えています。A さんが話す内容によって B さんの答えはいろいろ変わります。どんな気持ちか、何を言ったらぴったりかなどを一緒に考えてからペア練習するといいと思います。①はカルロスさんの結婚のニュースですが、このニュースを他の友達、B さんに伝えています。そのとき、B さんはAさんに「それはよかったですね」などと言いますね。「おめでとうございます」と間違える学生が多いので、気を付けるように言ってください。②では助詞に注意が必要です。

また、身近なニュースを他の人に伝えるという会話なので、例①②ではいつものメンバーのニュースが取り上げられています。15 課まで一緒に勉強してきた仲間ですから、学習者にとっても身近な存在のニュースを話していると感じてもらえるとうれしいです。

チャレンジ！

状況イラスト：山口さんが自分の部屋で見たニュースを、ロビーにいるパクさんとメアリーさんに伝えています。

2

コマイラスト：コマイラストの 1 枚目は、状況イラストの数分前の出来事を表しています。山口さんが寮の自分の部屋で交通事故のニュースを見ています。2 枚目のコマイラストでは、ニュースを聞いてびっくりした山口さんが慌ててロビーに行って、パクさんにニュースについて話しています。パクさんは木村ユウトのけがとスマイルの来週のコンサートがどうなるか心配しています。

【チャレンジ】をするときに、山口さんとパクさんの表情にも注目してもらってください。

学習項目 N で（原因）

言ってみよう　別冊2

ここではイラストを見ながら、文を言う練習ですが、口が慣れたら、教師が口頭で「雪で」「台風で」などと、原因を教師がキューとして出して、後件を学習者が自分で考えて言う練習もできます。

言ってみよう　本冊2

ペアでの練習をする前に、全体で何と言ったらいいか、考える時間を持つといいと思います。①ではテロップにある文字をそのまま読んで「4 人がけがをした」と言ってしまう学習者がいますが、「4 人の人がけがをした」となるところは注意が必要なところです。「〇人の人が」「〇匹の犬が」などの言い方を紹介できるといいと思います。②では「さようなら」をどう言ったらいいのかとまどう学習者もいるようです。「死ぬ」は新出語彙ですが、教師がすぐに説明するのではなく、画面のテロップに書かれている「病気で…さようなら…」がどんなことを意味しているのか、学習者に考えてもらいましょう。学習者の状況に合わせて、地域のニュースなどを利用して、キューを増やした練習もできます。

別冊で「亡くなる」、本冊で「死ぬ」が提出されています。どんなときに使うのかの違

いを押さえておくといいでしょう。

やってみよう

ST1 の「できること」は、「自分が見聞きした情報を相手に伝えて誘ったり感想を話したりすることができる」です。ただ情報を伝えるだけではなく、友達を誘ったり、その日本語を使って相手を誘っているか、行動の提案をしているかなどにも注目するようにしてください。

■　学習者同士で情報を共有し、そこから一緒に行動ができるといいですね。

こんなふうに

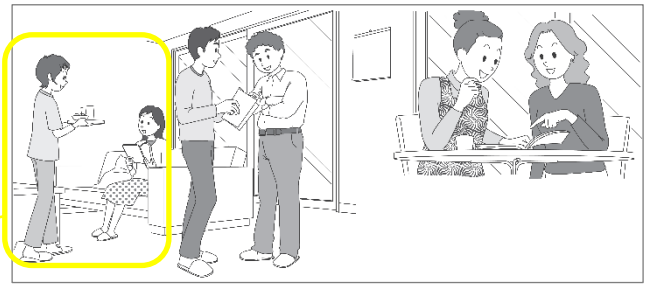
学習者が住んでいる地域のイベントやニュースを使って、やさしい日本語に書き換え、それを練習に用いてみました。

ＳＴ２　雑誌を見て町へ

できること：雑誌などの情報をもとに、いろいろな条件を考えながら友達と行動することができる。

チャレンジ！

状況イラスト：
寮のロビーで友達と雑誌を見ながら、話しています。ワンさんは雑誌を見て、パクさんに話しかけています。



1

コマイラスト：ワンさんは雑誌を見て、おもしろそうな情報を見つけました。パクさんを誘っています。新しい動物園は 3 人以上で行くと、特典があるそうです。ワンさんはパクさんとアンナさんの 3 人で一緒に行きたいと思っています。

　コマイラストではワンさんが雑誌を持って話していることに注目してください。ワンさんの吹き出しは雑誌で紹介されている内容です。この談話は 2 コマ続いているので、【チャレンジ】では、1 コマ目で終わらず、2 コマ目までの内容を学習者に考えてもらってから、ＣＤを聞いてください。

　2 コマ目のコマイラストでのやり取りを見てみましょう。例えば

A：パクさん、時間がありますか。時間があります、じゃ、アンナさんと 3 人で一緒に動物園へ行きませんか。

B：いいですね。私がアンナさんに電話をします。

　このとき、1 枚目に戻り、ワンさんの 2 つ目の吹き出しを指さして、

教師：「3 人で動物園へ行きます。じゃプレゼントをもらうことができます」ですね。3 人で行きますか、行きませんか、まだわかりません。でも 3 人で行きます、もらうことができます。
時間がありますか、ありませんか、わかりません。時間があります、じゃ、一緒に行きます。

のように言って、CD を聞くと、「~たら」の部分に注目することができると思います。

学習項目　～たら

言ってみよう　別冊1

練習 1 は動詞、練習 2 は形容詞と名詞に分かれています。練習の方法はいろいろありますが、文での練習の前に、「たら」の接続の部分だけを練習してから、一文を言う練習というように進めてもいいと思います。また、口が慣れたら、キューの前件（休みが 1 か月あったら、お金があったら、アルバイトがなかったら、道がわからなかったら、暇だったら、雨だったら）を利用して、学習者が後件を考える練習もできます。

こんなふうに

口頭練習だけではなく、書いて整理ができるようなプリントもあったほうがいいかと思い、このようなプリントを用意してみました。

～たら

■動詞（V）

降ります	降ったら	降らなかったら
飲みます		
聞きます		
急ぎます		
行きます		
降ります		
あります		
食べます		
晴れます		
します		
掃除します		
来ます		

■イ形容詞（イA）

高いです	高かったら	高くなかったら
安いです		
多いです		
寒いです		

■ナ形容詞（ナA）

大変です	大変だったら	大変じゃなかったら
ひまです		
便利です		

■名詞（N）

無料です	無料だったら	無料じゃなかったら
雨です		
休みです		

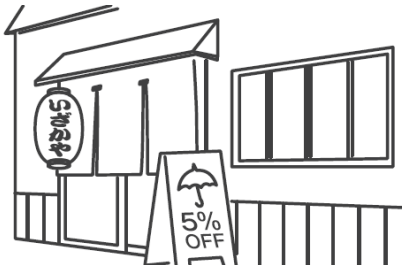
①週末、時間が（ありますー　　）、映画を見たいです。
②明日（晴れますー　　）、バーベキューをします。
③（急ぎますー　　）、間に合います。
④雨が（やみますー　　）、公園へ散歩に行きませんか。
⑤（安いですー　　）、買います。
⑥風が（強いですー　　）、花火大会は中止です。
⑦もし（いいですー　　）、一緒にコンサートに行きませんか。

言ってみよう　本冊1

条件の「～たら」を用いて、お得情報を言っている会話です。ペアで練習するときは、Ｂは代入するところがないので、教科書を見ないで言ってみるのもいいでしょう。リアルな会話に近づけると思います。

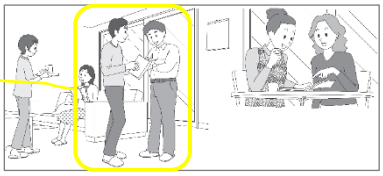
こんなふうに

練習するときに、教科書のキューを雑誌風にアレンジしてみました。Ａになった人はこれを見て、Ｂに話すという練習です。地元で新しくオープンした店や施設などがあったら、それをキューとして加えてもいいと思います。

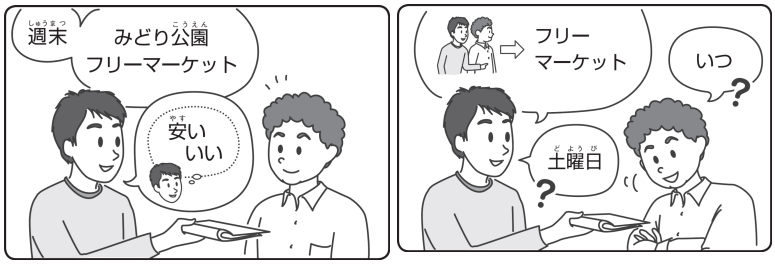
スーパー	居酒屋
 1000 円以上買います プレゼントがあります	 雨です ５パーセント引きです

チャレンジ！

状況イラスト：
寮のロビーで友達に雑誌を見せながら、
話しています。西川さんはさっき見た雑誌の内容について
カルロスさんに話しています。



2



コマイラスト：雑誌でイベントがあることを知った西川さんが、そのイベントのよさをカルロスさんに伝えて、イベントに誘っています。カルロスさんも興味があるようです。

西川さんの吹き出しの中で、点線で囲まれた「安い　いい」が、西川さんの頭から出ていることに注目してください。【チャレンジ】のときに、西川さんが「みどり公園のフリーマーケットは安くていい」と思っていることがわかるように、西川さんの頭の部分を指してから、CD を聞くといいでしょう。ここの学習項目は「～と思います」（推量）ですが、14 課ＳＴ３で学習した「～と思います」は身近なことについて意見を言うために用いられています。

1と同様、1 コマ目だけで終わらず、2 コマ目のコマイラストの内容も見てから、CD を聞いてください。

学習項目　～と思います（推量）

言ってみよう　別冊2

「~と思います」は 2 回目の登場なので、形の練習にはあまり時間をかけず（学習者に応じて調整しながら！）、意味を考えながら、文がスムーズに言えるような練習をしたほうがいいと思います。別冊の練習以外にも学習者の生活の中から言えるような文で練習するのももちろんいいです。

練習しながら教師が言葉を足したり問いかけをすることでここの「～と思います」の意味がしっかり伝わるようにできると思います。例えば、例）の場合、
「明日は晴れると思います」の文を言ったあとで、教師が、「じゃ、友達に何と言いますか」のように問いかけると、学習者からは「一緒に公園を散歩しませんか」とか「サイクリングに行きませんか」とか言った答えが返ってきます。

①「週末は道が混むと思います」の文を言ったあとで、
教師　：どうして？
学習者：週末は遊びに行く人が多いですから。
教師　：ああ、そうですね。じゃ？
学習者：早く家を出ましょう。
③「カルロスさんはパーティーに来ないと思います」では
教師　：今日カルロスさんもパーティーに来ますか
学習者：いいえ、カルロスさんは来ないと思います。
教師　：どうしてですか。
学習者：昨日熱がありましたから。仕事が忙しいですから。
などのように、学習者がいろいろな答えを言ってくれます。
このように、別冊の単文練習ですが、いつどういうときにこの文を言うかをイメージしてもらえるように工夫しながら、単文の口慣らし練習をしていくといいと思います。
新出語彙がいくつかあるので、それを見落とさないように注意してください。

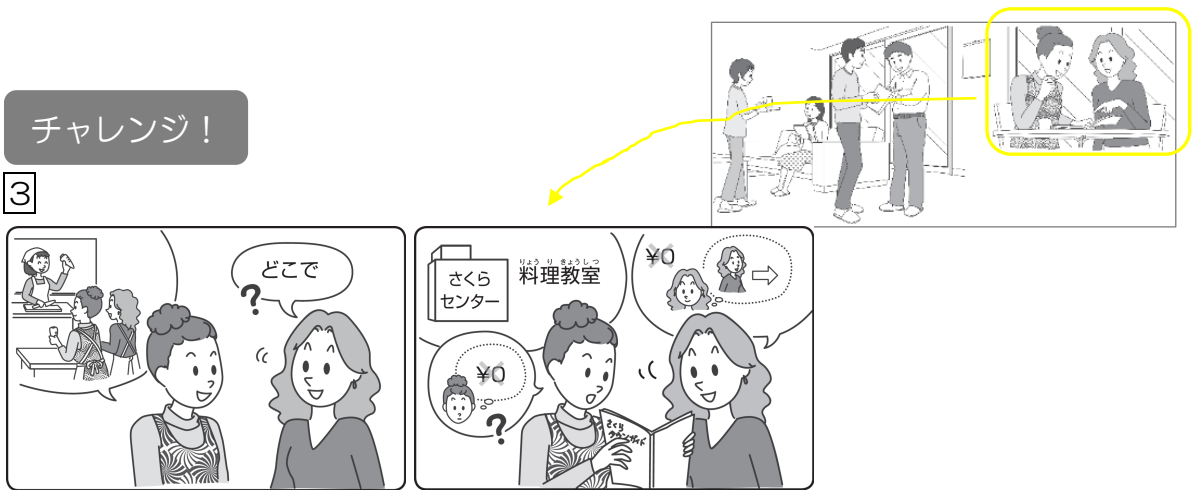
言ってみよう　本冊 2

イベント情報とそのイベントについて、A さんがいいと思っていることを伝えて B さんをイベントに誘っています。

別冊では、③「カルロスさんはたぶんパーティーに来ないかもしれません」や⑦「アンナさんはたぶん風邪だと思います」のような例文も入っていますが、【言ってみよう】本冊では、相手を誘うときのよりよい情報として、ポジティブなことを追加して誘っています。

チャレンジ！

3



コマイラスト：山口さんは料理を習いたいと思っています。雑誌を見ていると、さくらセンターで料理教室が行われているのを知りました。メアリーさんを誘っています。メアリーさんは料理教室が無料じゃなくても習いたいと思っています。

2 コマ目のメアリーさんの吹き出しの中「￥０」の上に「×」が描かれているのとメアリーさんが「行きたいです」と言っていることに注目をするようにしてください。【チャレンジ】では、学習者が左の山口さんの吹き出しを見て、「無料じゃないと思いますが、行きますか」「無料じゃないと思いますが、大丈夫ですか」、メアリーさんの吹き出し「はい、無料じゃありません。でも行きたいです」とチャレンジするでしょう。2 枚目のメアリーさんの吹き出しを再度指さすと、学習者から「そうですね。もし無料じゃありません、でも行きたいですね」という日本語が出てくると思います。この後聞く、ここの学習項目「～ても」に集中してもらえるように、フォーカスをあててから CD を聞いてください。

学習項目　～ても

言ってみよう　別冊3

「ても」の接続の練習では、「動詞ナイ形＋くても」はすぐに口が回らないことが多いようです。学習者に応じて、ステップを踏んだ練習をしてください。別冊 1 の練習でも述べましたが、前件を聞いて、後件を考える練習もできると思います。

できる日本語　１５課　ＳＴ２
～ても

■動詞（Ｖ）

降ります	降っても	降らなくても
飲みます		
聞きます		
急ぎます		
行きます		
買います		
あります		
食べます		
晴れます		
します		
掃除します		
来ます		

■イ形容詞（イＡ）

高いです	高くても	高くなくても
安いです		
多いです		
寒いです		
強いです		
いいです		

■ナ形容詞（ナＡ）

大変です	大変でも	大変じゃなくても
ひまです		
便利です		

■名詞（Ｎ）

無料です	無料でも	無料じゃなくても
雨です		
休みです		

①サッカーの試合は雨が（降ります⇒　　）、あります。
②熱が（あります⇒　　）、会社へ行きます。
③（急ぎます⇒　　）、約束の時間に
間に合いません。
④店の場所は、地図を（見ません⇒　　）、
わかります。
⑤（高いです⇒　　）、このパソコンがほしいです。
⑥天気が（よくないです⇒　　）、出かけます。
⑦（大変です⇒　　）、富士山に登りたいです。
⑧（無料じゃありません⇒　　）、ホームステイに
参加したいです。

言ってみよう　本冊 3

ここでは、チャレンジの会話の流れと同じく、相手から聞いた情報について、行きたい気持ちを強く伝えるとき、「~ても」が使われています。2で練習した「～と思います」（推量）も一緒に使われています。A があるイベントやお店について紹介しましたが、それについて懸念していることを相手に伝えるときに「~と思います」が用いられています。

言ってみよう2では、相手を誘うために、そのイベントについての肯定的な「～と思います」（推量）を使っています。（「安くていいものがあると思います」「にぎやかで、楽しいと思います」「きれいだと思います」）言ってみよう3では、「~と思います」を使って、ちょっと大丈夫か、気になる点をあげています。友達と一緒に行動するとき生じる不利益や心配ごとを回避するために「～と思っています」（推量）を使って、あらかじめ相手の意向を聞いています。

やってみよう

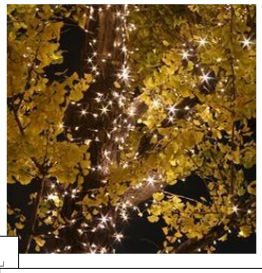
ＣＤを聞いたあとで、質問に答えるだけではなく、その答えがわかった日本語は何だったかにも注目するようにしてください。例えば、1 の問い「雨でも行きますか」に対して、答えは「はい」ですが、答えを確認する際に、この答えがどんな日本語からわかったかも聞いてみてください。

■　ロールプレイをします。下記のように、実際の情報を使って、チラシや情報誌を作成し、ロールプレイをします。雑誌を見ているようなレイアウトにするとを用意してみました。学習者が住んでいる地域の情報があると、練習ではなく、本当にクラスメイトと一緒に行ってみようというリアルな会話になると思います。ぜひ、学習者の場所にあった情報で、やさしく作り変えたものを使って授業をしてみてください！

こんなふうに

それぞれの地域の情報を利用してください！

◆　東京　丸の内のイルミネーション



約240本の木に111万球の電球がつきます！
雨でもきれいです！

このイルミネーションはぜんぶ太陽光や風力などの自然エネルギーから作った電気を使っています。

期間　：　11 月 7 日（木）～2 月 16 日（日）
ライトアップの時間：　17:30～23:00　※12 月は 24:00 まで
場所　：　丸の内仲通り　JR・地下鉄「東京駅」下車

文京梅まつり

日にち：2 月 8 日～3 月 8 日

場所：湯島天満宮(湯島天神)

入園時間：8 時 00 分～19 時 30 分

・入園、無料！

・梅の木が 300 本あります。

2 月 14 日（日）、2 月 21 日（日）に行ったら、

お茶会を見ることができます。

参加することもできます（500 円！！）。

スリランカ フェスティバル２０１８

日時：2018 年 8 月 4 日（土）、5 日（日）　10 時 00 分～20 時 00 分（予定）

場所：代々木公園 野外ステージ イベント広場

・本場のスリランカ料理やおいしい紅茶を食べたり飲んだりすることができます。

・代々木公園ですが、スリランカに行った気持ちになります！

ＳＴ３　町を歩いて

できること：出かけた先で、自分の周りの様子を簡単に話すことができる。

チャレンジ！

状況イラスト：友達と一緒に喫茶店にいます。
友達とメニューを見ながら、話しています。

1-1

コマイラスト：パクさんは店員さんが持ってきたコップが汚れていることに気がつきました。店員にそのことを言います。

ＣＤでは、パクさんと山口さんがお店に入るところから会話が始まっています。コマイラストを見た学習者が「コップがきれいじゃありません」とか「汚いです」（知っている学習者がいたら）と言ったら、それで OK です。コップが今どんな状態かを表しているということ、きれいじゃないということがわかって、ＣＤを聞いたらいいと思います。

CD を聞いたあとで、パクさんが言った「すみません。このコップ、汚れています」の日本語を板書します。それがどんな意味か、学習者に問いかけながら「きれいじゃない」という意味だと確認します。その際、「汚れます」の意味も伝えて、「Ｖのテ形+ています」の意味が状態であることをおさえていきます。

学習項目　Ｖています（結果の状態）

『できる日本語』の特徴の一つに「文脈化を大切にしている」があります。この ST3 に入るまで、雑誌などを見て知った情報やお得情報を伝えて、友達を誘っています。ST1 や ST2 2 からの会話の続きのイメージで ST 3 に入れると、学習してきたものがつながった言語行動として捉えられるようになると思います。

教室で、学習者に「今日はパクさんと山口さんが一緒に出かけました。買い物をしたり、遊園地に行ったりしたかな？ちょっと疲れました、お腹もすきました。どうしますか？」などと話すと、「レストランでご飯を食べます」

「喫茶店で休みます」といった答えが返ってきます。それに「いいですね」などと答えながら、状況イラストを見てみましょう。あとでチャレンジのＣＤを聞いたときに、お店に入る音から聞こえてくるので、止まったイラストとしてではなく、山口さんやパクさんの休日のお出かけ中の会話が流れとしてわかって、生き生きとしたものに見えてくると思います。

言ってみよう　別冊1

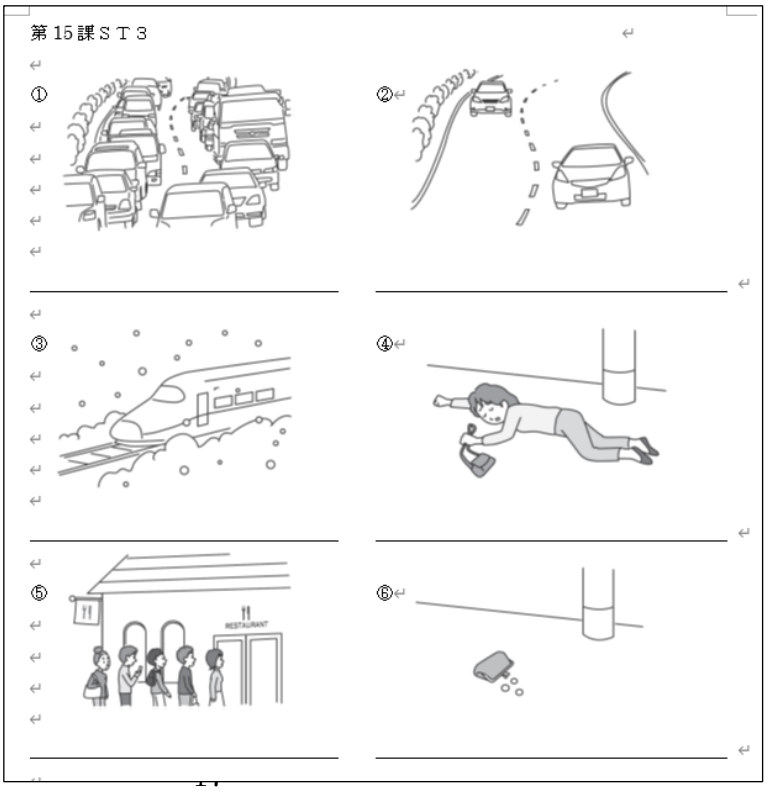
クラスのレベルによっては、一文の単文練習をする前に、動詞だけで練習してから少しずつ長い文にしていくといいと思います。「止まっています」⇒「新幹線が止まっています」⇒「雪で新幹線が止まっています」のように少しずつ長くしていくといいと思います。

①では、イラストを見せて「道がすいています」と、その意味の「道に車が少ない」という意味も学習者に問いかけて言ってもらうことで、状態を表しているということをしっかり押さえながら進めます。意味がわかってからマス形も紹介します。

②「新幹線が止まっています」の文は、続けて教師が「どうして？」と問いかけると、学習者からは「雪で」という言葉が返ってきます。「雪で新幹線が止まっています」という文を言ったあとに、マス形の「止まります」を紹介します。

こんなふうに

口頭練習だけではなく、このようなシートを練習の中で使ってみました。


第 15 課ＳＴ３

①
②
③
④
⑤
⑥

授業中、学習者が意味があやふやなまま、とにかく動詞の形を「~ています」に変換して口を動かしていることがあります。これは、【チャレンジ】がちゃんとできたかどうか（！）にもよるのですが…もし、練習中、これは怪しい？？？と思ったときには、そのあやふやさがなくなるようにしてください。例えば、「倒れます」だったら、ペンなどをその場で倒すことで確認したあと、ペンが倒れた結果、ずっと同じ状態がずっと続いていることを示してから、イラストを見て再度「人が倒れています」と言ってもらうといいと思います。

ここでは自動詞他動詞の対応は紹介していませんが、学習者に合わせて、本冊 p.288 にある自動詞と他動詞の表を紹介してもいいかもしれません。なお、「Ｖてあります」（他動詞+てあります：結果の状態）は初中級 2 課 ST2 で扱っています。

言ってみよう　本冊1-1

中央で小さくなっている店員さんに同情が寄せられるのか、このイラストを見ると、教室で笑いが起こることが多いです。学習者に合わせて、A と店員の 2 ターンだけで終わらせず、店員の「あっ、すみません。」の続き（例えば、「すぐに新しい〇〇を持ってきます」）を考えてもらう練習などもできると思います。

チャレンジ！

状況イラスト：喫茶店でおしゃべりしている間に時間が経ったようで、外は暗くなってきました。
喫茶店を出た山口さんとパクさんは東京タワーを見て、話しています。

1－2

コマイラスト：パクさんは東京タワーのライトアップに気がつきました。それを見た山口さんはパクさんに一緒に写真を撮ることを提案しています。

1－１で学習項目は練習済みなので、ここでの【チャレンジ】はスムーズにできると思います。

学習項目　Ｖています（結果の状態）

言ってみよう　本冊1-2

チャレンジの会話の流れと同じく、目の前の状態を相手に伝えて、次の行動の提案や相談をしている会話です。最後の B には 💬マークがあるので、キューはありません。「そうですね」以外にも、「そうしましょう」「ええ」「早く中に入りましょう」などなど、イラストを見ながら、いろいろなやり取りが出てきます。 A の提案も吹き出しどおりでなくてもいいと思います。学習者のアイデアでいろいろな会話に広がると面白くなります。⑤では、人が少ない店内を見て、「人が少ないですから、この店はおいしくないと思います。他の店を探しましょう」と言ってくれた学習者もいました。

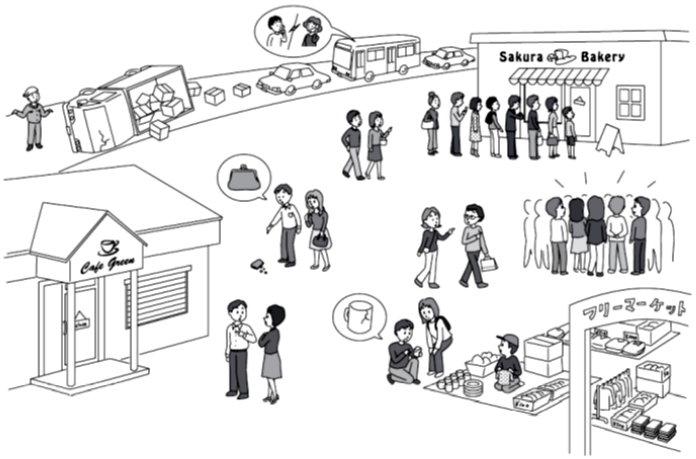
やってみよう

ＣＤを聞く前に、イラストを見る時間を少し取って、イラストの内容を確認してください。

■　イラストを見ながら、話します。指示に「ペアで話しましょう」とありますが、フリーマーケットでは品物を売っている人も交えたり、パン屋の前に並んでいる人たちに話しかけたりする会話など、ペアに限らず、そこにいる人を交えた会話もいいでしょう。

会話を考える際に、ABA などの短い会話で終わらせるのではなく、長く会話を続けてほしいと思っています。今、見えている部分だけを会話で表すのではなく、前後の行動も想像して会話が考えられるといいと思います。イラストだと、動きが表すことが難しいですが、学習者たちの行動は止まったものではなく流れているものなので、それが表現できるようになったらいいと考えています。

下のようなイラストを用意し、イラストを見ながら口を動かしたあと、余白に会話を書き込むこともいいと思います。



できる！

この課の行動目標は、「ニュースや身近な情報を友達や周りの人に簡単に伝えることができる。また、その情報をもとに一緒に行動することができる」です。

ここに【できる！】の実践例をいくつかご紹介します。

・グループで新聞を作成し、お互いにその新聞を読み合う。
・それぞれ身近なニュースを紹介し、そのあと、質問をたくさんする。
・日本に来てからの３大ニュースを話す。
・日本に来てからのニュースを話して、書く。その後、読みあってお互いにコメントをする。最後に書いた作品を冊子にする。
・１人１ページ担当してクラスで雑誌を作る

こんなふうに

クラスで新聞を作る際に、学習者が記事を書く参考になるように下記のようなプリントを準備しました。

「Ａ１０クラス新聞」を作りましょう！！

① どんな記事を書きますか。

＜私のニュース＞
・最近の私のニュース
・日本へ来てからの私のニュース
・この１年の私のニュース
・今の自分の気持ちやみんなに聞いてもらいたいこと
・自分が経験したことで、みんなに教えたい便利な情報　など

＜テレビや雑誌、新聞などで知ったニュース＞
・私の町/国のニュースで、みんなに教えたいこと
・最近のニュースで、いろいろ考えたこと　　など

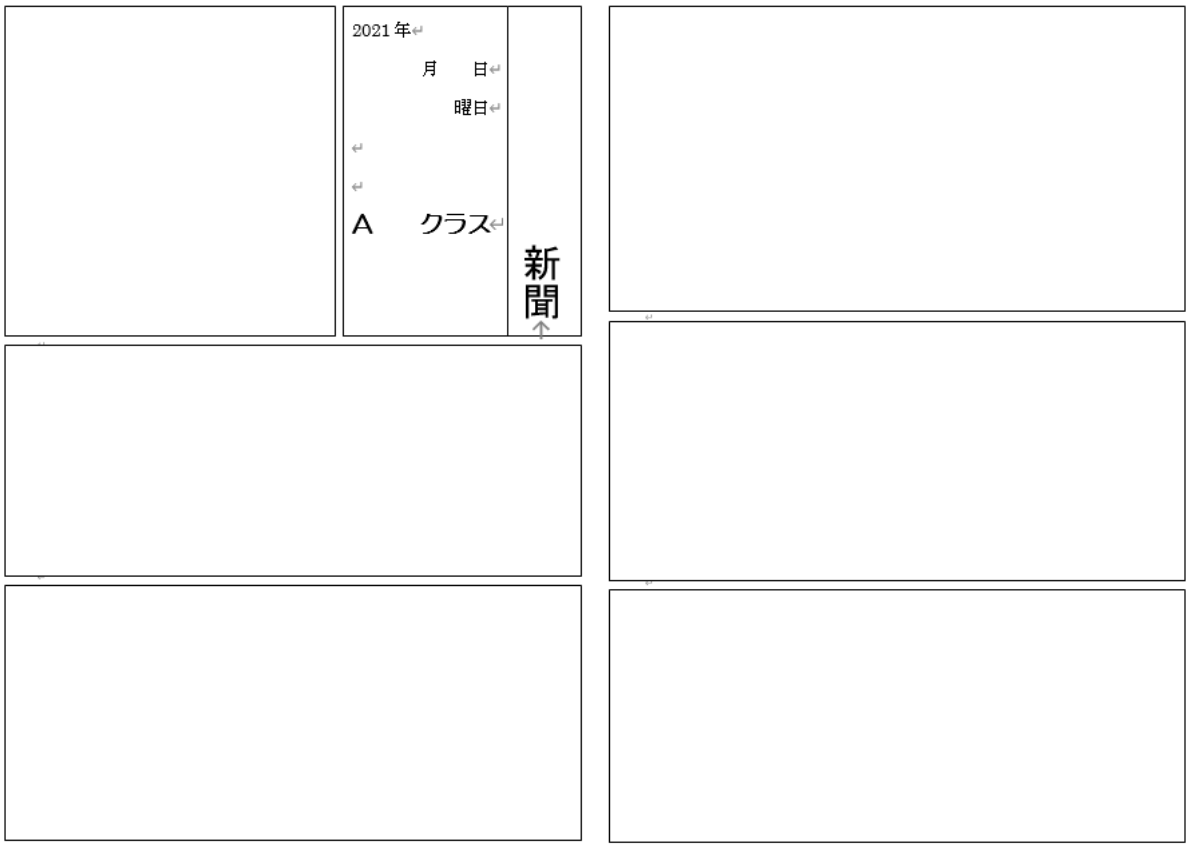
② 記事のタイトルを考えましょう。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

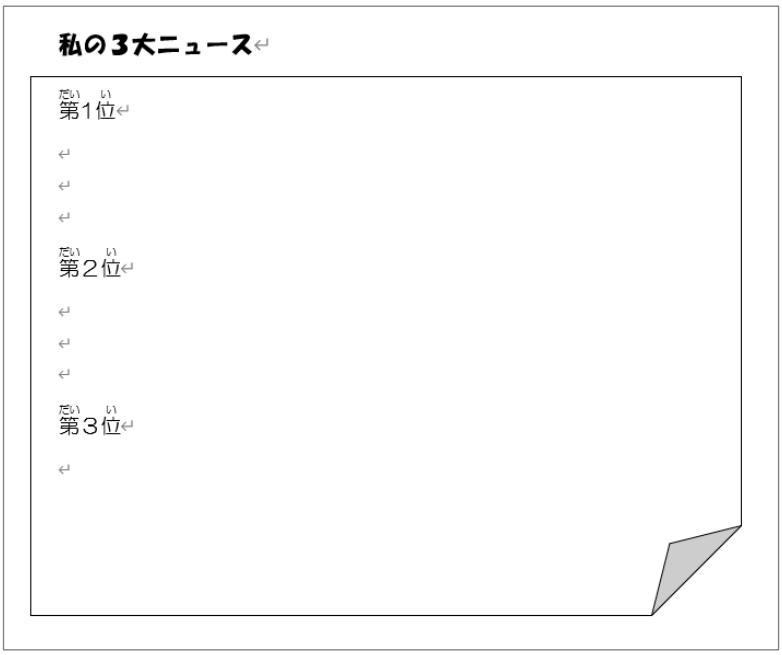
③ 記事を書きましょう。

・できるだけきれいな字で書きましょう。
・読む人をイメージして書きましょう。

新聞は下のような台割を作り、それぞれが書きたいところに記事を書くようにしました。



3 大ニュースを紹介する際には、このようなシートを用意してみました。



話読聞書

「私のニュース」について話します。1 課から勉強を始めて、学習者の日本語の力は相当アップしていることと思います。ここでは、それぞれの「ニュース」が共有できるといいと思います。また、これは【できる！】と連動して行うことができます。まずは、グループで個人の「私のニュース」を話し、その後、記事にして、それをグループの新聞にして、他のグループの人に読んでもらうということもできるでしょう。日本へ来てからアルバイトを始めたこと（人生で初めてのアルバイト）や一人暮らしでの生活について、入学式やクラスメイトとの出会いが「私のニュース」とかといった話が出てきました。